

◆ 介護情報基盤ポータルのご紹介 ◆

介護情報基盤の活用をサポートする公式サイトをご用意しています。
オンラインで、素早く、助成金をはじめとした各種申請や関連情報の確認、問い合わせができます。



介護情報基盤ポータル



詳しい情報は
こちらから

医療機関のみなさまへ

介護情報 基盤

リーフレット

◆ ご負担少なく、サポートとともに始められます。 ◆

- ご利用にあたって、**利用料はかかりません。**
- **介護情報基盤の導入に関する助成金をご用意しております。**
申請は「介護情報基盤ポータル」の「各種申請」から行うことができます。
- 介護WEBサービスを利用する医療機関は、**導入支援事業者のサポートを受けられます。**



ご相談があれば、気軽にお問い合わせください!

◆ お問い合わせ ◆

「介護情報基盤ポータル」の「お問い合わせ」よりご連絡ください。
チャット・お問い合わせフォーム・電話でのご案内を用意しております。



医療機関専用
0120-697-313



受付時間 平日 8:00~18:00 / 土曜 8:00~16:00
日曜、祝日、年末年始(12月29日~1月3日)は、
お休みさせていただきます。

やさしいデジタル、 介護を支える、 ひとつにつなげる。

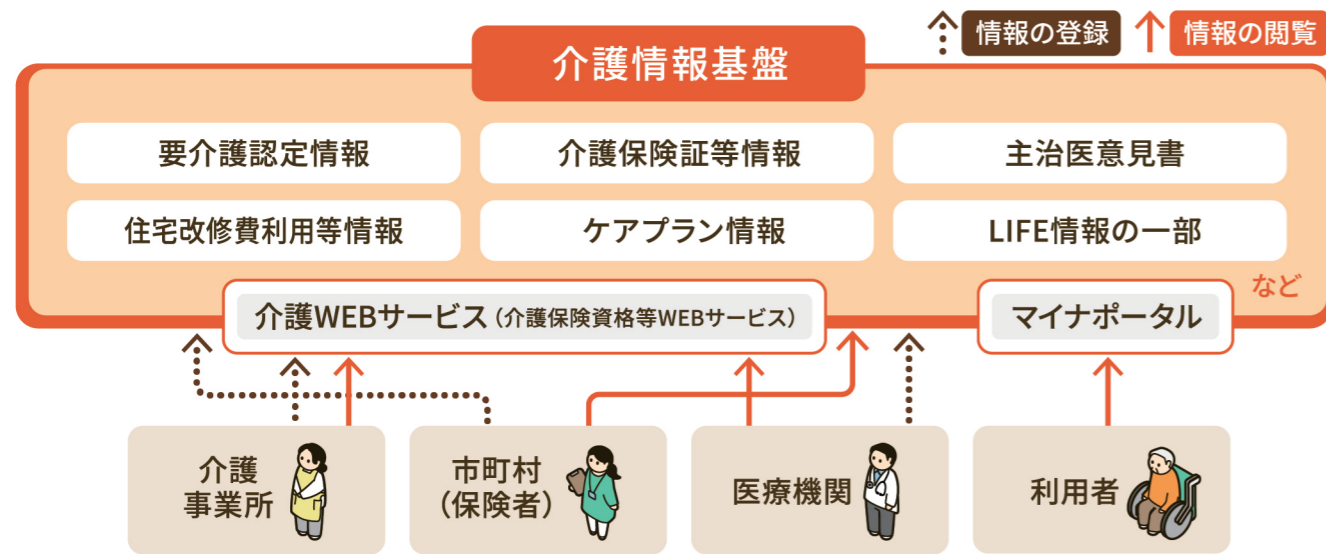
介護情報基盤とは

介護に関する情報を電子化し関係者間で共有できる仕組みです。

介護を取り巻く現場には、人材不足や複雑化する業務といった課題があります。その課題をデジタルの力で解決し、働きやすい環境をつくることを目指すのが、この「介護情報基盤」です。

事業所・市町村(保険者)・医療機関・利用者といった、介護に関わる方々の連携を強めます。複数のガイドラインに従って構築されているシステムとなるため、情報セキュリティが担保されています。

この仕組みから生まれるのは、人と向き合う時間。ケアの質が高まり、利用者のご家族の安心や幸せにつながります。ひとつの「基盤」の上で、介護に関わるすべての人が支え合うチームとなっていきます。



3つのメリット

事務作業の効率化



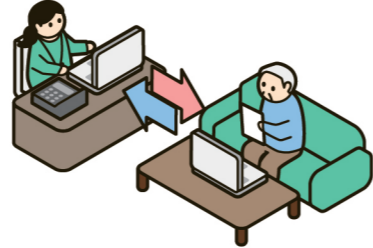
紙での手間や負担がかかる作業が減り、より素早く、容易に仕事を行えます。

情報をひとつに集約



介護保険資格・認定情報、主治医意見書、ケアプランなどの情報をサービス間で共有できます。

手続きをリアルタイムで



介護に関する申請・提出・受信・確認などの作業を、郵送や電話を介さずオンラインで完結できます。

医療機関のみなさまへのご案内

実現できること

作業を削減し即座に対応

主治医意見書や請求書類などをオンラインで扱えるようになり、印刷・郵送の**手間**や**コスト**が削減されます。さらに、**居宅療養管理指導**などに必要な情報が連携され、スピーディな現場対応が可能です。



サービスの質向上

ケアプランやLIFEなどを通じて、**利用者の状態をより細やかに把握**できるため、気づきにつながります。長い目で**寄り添ったサービス**の提供が可能に。



利用開始までのステップ

文書作成ソフトや電子カルテとの連携

文書作成ソフトや電子カルテが対応している場合※、主治医意見書の電送ができます。

1. システム事業者にご相談・依頼



介護情報基盤への適用について、システム事業者にご相談・ご依頼。

2. システム改修



文書作成ソフトや電子カルテのシステム運用に向けての準備。

介護WEBサービスとの連携

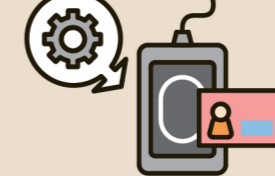
みなし介護事業所である医療機関の場合、介護情報の閲覧ができます。

1. 利用する端末の準備



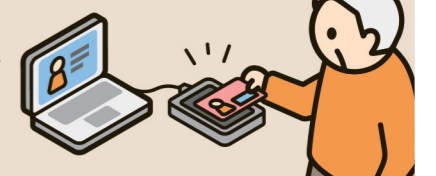
インターネット接続可能な端末を用意し、電子証明書をインストール。

2. 各種設定



マイナンバーカードの読み取り機器や介護WEBサービスの設定などを行い、市町村の対応状況を確認。

3. 活用開始



マイナンバーカードで、利用者の介護情報が閲覧可能に。紙の介護保険証等の情報を用いた手入力でも閲覧可能。

※文書作成ソフトや電子カルテが対応していない場合、介護WEBサービスから主治医意見書を電送することも可能です。詳しくは、介護情報基盤ポータルを参照ください。